福井県立美方高等学校
進路指導部通信

美方の進路

2021年１１月号
Ｎｏ.１９

～ 白露や茨の針にひとつづつ　　正岡子規 ～

「私たちの未来」２年探究学習中間発表会（10/23）

地元中学生や役場の方、また来賓として福井大学淺原教授、若狭町松宮教育長、美浜町森本教育長、国立若狭湾自然の家岸下所長、合計163名をお迎えし、これまで２年生が取り組んできた探究学習の成果を発表しました。

第１部　口頭発表①「「寺子屋教育」から学ぼう」
〃　②「参加型の芸術は人の「原動力」になるのか」

《参加者感想から》

わかりやすくて目的がはっきりしていた。声がハキハキ、話しかけてくれるような説明だった。

考えと証明（根拠）をつなげて話していたので聞きやすかった。対応力と説得力がすごい。

普通では気づかない史料（絵）から読みとれることを語ったり、絵を拡大してみせるなど工夫が見られた。

人を笑顔にしたりポジティブにすることができる芸術の力ってすごい。芸術って行動や挑戦のきっかけになるんだな。

自分たちで実際にアンケートをとったり、取り組みが上手くいかなかった原因を考え、考え出した課題を実行していることがすばらしい。

「参加型」、「芸術は原動力になるか」という問いかけが斬新でよかった。

第２部　ポスター発表

主な発表　◇肌について　◇LGBT　◇スポーツによる健康と栄養　◇フェアトレードについて　など

中学生の聞く態度も素晴らしかった。

グラフを使ったりアンケートをとったり、大事なところを色分けしたりと工夫されてあって、とても分かりやすかった。

自分の関心とつなげられそうな発表だった。高校生の方が優しく話しかけてくれた。

探究するテーマは何だって良いのだ。どの発表も興味がわいた。来て良かった！と思った。

今後への課題

・SDGSとの関連をさらに考えよう。（身近な問題の奥には、世界的な課題がある！）
・聞き手を意識した発表を！表現力を磨こう。（スライドの作り方・発表の声・方法の工夫）
・日々の授業と探究とを連動させて考えていこう。（問題は教科を超えて繋がっている！）

「若狭ｿｰｼｬﾙﾋﾞｼﾞﾈｽｶﾚｯｼﾞ」参加報告（１年から３年まで７名が参加）10/2、11/6

① 「地域学」とは　　澁澤寿一氏（NPO 法人共存の森ネットワーク）　講演

○ 地元から学ぶ･･･そこに生きてきたおじいさん、おばあさんが一番詳しい。

↓　「どうやったらこの地域で生きていけるか」を懸命に考え行動してきた方

舫い直し（もやいなおし）･･･人間関係をつなぎ直そう

水の経絡がわかれば、地元のどことどことが繋がっているかわかる。

《関係の向こう側にある秘密を読み解こう》

◇先ず地元を歩き直接目で見てみよう！

問題意識と責任感が芽生え、将来へのデザインのヒントが得られる。

《参加者感想から》

・集落について知ること、その中で今までどんな人と人とのつながりがあったのかということについて知ることがとても大切なのだ。海山を歩き話を聞いて、昔の姿がはっきりと想像することができた。自然に笑みがこぼれた。それぞれの時代でその地域の人々が頑張ってつないできたことを知ると、とても感慨深い。

・地域は人と人との関わりでつくられている、「自然は寂しい。けれど人の手が加わるとあたたかくなる。そのあたたかなものを求めて歩いてみよう」（宮本常一）この考え方は大切になってくるだろう。便利になっていく世の中だが、結局は人の力によって物事は動いていくのだ。今ある地域の方々の知恵やしきたりをもっともっと次の世代に伝えられるようになればなあ。･･･なくなることがないように、それを自分たちがつないでいけるようにしたい。

・昔の人が作り上げたものがあって、今がある。感謝しないと。お話しから、自然や地元の魅力、自分たちの課題といった多くのことを知ることができた。今までの生活の中に、未来の生活のための知恵が発見できるかもしれない。

ひととき　　進路室より

小春日和の朝、突然就職担当の先生のもとへ生徒が飛び込んできました。「話があります」「同じクラスの隣に座っている子が、目標に向かって一生懸命に頑張っている。桜咲く春の日から暑い夏、そしてこの秋までずっと。本当に一生懸命に夢に向かって努力している、その姿をずっと見ていたら、私の進路選択が果たしてこれでよかったのか、いい加減な気持ちで選んでなかっただろうか･･･、私の本当にやりたいことって何だろう?と思うようになったんです。」友達のがんばりを真っ直ぐに受けとめ自分の在り方を省みる、この素直さに、とてもすがすがしい気持ちになりました。

進路部では、外部講師を招聘し講演会やガイダンスなどをしたり様々な企画を行っていますが、ホーム内で共に活動する中で、「生き方」についてこの様に強い影響をもらえる、教室という場の教育力の高さ、またこの様な大切な話をまっすぐに伝えたいと思える先生との信頼関係にも心あたたまるひとときでした。